

地域をつなぐ餅つき大会

2018 年が明け、今年もベイタウン・コアでは毎年恒例の餅つき大会が行われました。餅つき大会は今年で 20 回目。今回はそんな大会を陰で支えている方たちに注目しつつ、取材を忘れ餅つき大会を楽しんできました。【土井】



1 月とは思えない、暖かい日差しの中で今年の餅つき大会は行われました。開始は 10 時からでしたが、9 時 40 分ごろにはすでに長蛇の列ができていました。その中にはなんと 8 時から並んでいる子どもたちもいたそうです。

餅をつく臼は全部で 4 つあり、打瀬小、海浜打瀬小、美浜打瀬小の 3 校と打瀬中の臼に分けられていました。子供たちが 1 人ずつお餅をつくごとに「よいしょ！」と至るところから声が聞こえます。10 時半ごろになると続々と人が増えていきました。

歩いていると「パフォーマンス始まります。見に来てください」と可愛らしい声が聞こえてきます。そこではボランティアとして参加している美浜打瀬小の子どもたちがダンスで会場を盛り上げていました。パフォーマンス後に話を聞いてみると、餅つき大会でダンスを踊ることは子どもたち発の案とのこと。美浜打瀬小の重田千陽さん、山口奏さんは「運動会で踊ったものを餅つき大会で踊りたいと思った。みんながダンスを見て笑ってくれるといいな」と話してくれました。

その後は餅つき大会を支えているスタッフの方たちのためにまかないを作っているコアの準備室を取材させて頂きました。ここでは育成委員の須田さん、古屋さんにお話を聞くことができました。餅つき大会の準備はなんと前日の 10 時から始まったそうです。臼にお湯をはったり、まかないの

豚汁を作ったりして一旦休憩を挟みながらも夜 7 時頃まで準備は行われたのだとか。実際に豚汁を頂いたのですが、具に味が染みっていてとても美味しかったです。

実はこの餅つき大会、お餅以外に人気なのが炭火で焼いた焼き芋だそうです。お芋の準備も美浜打瀬小の子どもたちが手伝ってくれているのだとか。まだ食べたことのない方はぜひ来年食べていただきたいで



す。取材をしてみて、改めてたくさんの方々の尽力があってこそこの餅つき大会なのだと感じました。

餅つき大会について須田さんは「若い方たちが多くいる街ということもあり、将来グローバルに活躍する子どもたちに日本の伝統的な行事を見て知ってもらえれば」との思いがあるそうです。たしかにお正月にお餅は食べても、実際に餅つきを見る機会はなかなかないですね。

ではそもそもなぜベイタウンで餅つき大会が行われることになったのでしょうか。1 回目から参加している育成委員長の西村さんにお話を伺うと、20 年前新しい町だったベイタウンの街おこしの一環で餅つき大会は始まりました。その頃はコアがまだなかったため、初めは 6 番街の空き地から始まったそうです。その後いろんな場所で行われましたが、最終的にはコアで落ち着いたようで、まさにみんなで作り上げてきたものだというを教えて頂きました。これからも餅のように長く、地域の人々をくっつけるようなイベントであって欲しいです。



(写真左上) 小中学生のほか、就学前の子どもたちが、親子で餅つきをする姿が多く見られた。(写真左下) 毎年恒例になっている美浜打瀬小 4 年生による「餅つきを盛り上げる」ボランティア活動の「ベイもち食堂」。活動はその他、会場整理、ゲームやダンスなどいくつかの班に分かれて行われた。(写真右上) 餅つきの順番待ちのほか、人気の焼き芋にも長蛇の列。焼き芋は例年小中学校の先生が担当。(写真右下) 3 小学校からは「お父さんボランティア」が毎年参加している。

子ども記者が伝える

今僕の学校では…

打瀬小学校 6 年生

No.19
打瀬小学校編

あいさつ運動、募金活動、クリーン 作戦について

私は計画委員会であいさつ運動を行いました。一日目は近くに来た人に何人かまとめて、あいさつをしました。しかし通りすぎるだけの人が多くいました。あいさつをしてくれた人はほとんど友達でした。

私はこの日に「あいさつをする人が少ない」という課題を実感しました。私は人通りが多かったので声が聞こえなかったんだと思いました。

二日目からは初日より大きな声ではっきりと、あいさつをしました。この甲斐あって挨拶を返してくれる人が日に日に多くなると感じました。しかし、二日目からのあいさつ運動で、新たに気付いたことがありました。それは顔が暗いということです。

私はこの時、あいさつを通してたくさんの人が笑顔になってほしいと思いました。今の現状からどうしたら笑顔になれるあいさつができるのか、私たちにできることはいったい何なのかを考えていました。かなしいような顔を思うと何だか私もかなしくなりました。

翌日、私は自分から笑顔になれるように心がけてあいさつ運動を行いました。私から笑顔になれば、みんな笑顔になれると考えたからです。すると、何だか表情が明るい人が多くなった気がしました。私はとてもやりがいを感じました。

他の人が笑顔になると自分までうれしくなることが身をもって分かりました。だから私はこれからもあいさつを心がけたいです。そして打瀬の町を笑顔あふれる町にしたいです。【長谷川日葵】

「おはようございます。募金よろしくおねがいします。」私は計画委員として12月5日から8日に赤い羽根募金活動をしました。募金活動では、たくさんの人たちが募金に協力してくれました。募金といっしょにあいさつをすることも心がけながら取り組みました。初日はやっていることを知らない人が多くてあまり募金が集まらなくて心配だったけれど、たくさん声をかけたので2日目、3日目になるとだんだん集まってきました。毎朝早く起きるのは大変だったけれど、みんなが募金してくれるとすごくうれしかったです。募金で集めたお金は地いきの福祉のために使われるそうです。

高い者や障がい者の方などに役に立つと嬉しいです。【渡辺遥奈】

私は、このクリーン作戦に参加して感じたことが三つあります。一つめは、ベイトウンにたくさんのごみや落ち葉が落ちていて、ということです。今回のクリーン作戦では、打瀬小、海浜打瀬小、美浜打瀬小の三つの小学校の周辺に分かれてゴミ拾いをしました。私がゴミ拾いに参加したのは打瀬小の周辺だけでしたが、打瀬小に向かう道にもたばこの吸いがらやお菓子のごみが落ちていました。また、植え込みの奥にパンの袋やペットボトルなども落ちていました。ベイトウンは「きれいな街」という印象があったので、この状態にはとても驚きました。

二つめは、クリーン作戦終了後に感じた達成感です。寒い中たくさんの人と協力して行ったクリーン作戦は、「ベイトウンを自分の手できれいにした」「最後までやり切った」という気持ちにさせてくれました。これは、行った人にしか分からない気持ちだと思いました。

三つめは、一般の方があまり来ていなかったということです。学校の代表や先生方は来ていましたが、一般のベイトウンに住んでいる方々があまり来ていなかったように感じました。休みの日ということもあり、仕方がないのかなと思いましたが、ポスターがマンションの掲示板に掲示されていたし、自分の住む街をきれいにしたいという気持ちもあると思うので、次回があったら、ぜひ参加してほしいと思いました。【野畑六花】

ベイバスターズ 第15回卒部式

2月21日(日)は午後からコア・ホールで少年野球チーム「ベイバスターズ」の第15回卒部式が行われていました。今年卒業するのは6年生11人。ステージにならぶ卒部生の後ろには、大小様々なトロフィーが所狭しと並んでいます。代表の原氏によると「このチームはベイバスターズの実力を飛躍的に高めたチーム。このトロフィーの多くも彼らの活躍によるものです」とのこと。確かに昨年8月号のベイトウンニュースでも「ベイバスターズ 第39回くりくり少年野球大会で全国制覇」と、全国優勝をお知らせしていました。

ステージ上では凛々しく、緊張した面持ちのメンバーたちですが開会式前にアトリウムでたむろする姿は普通の小学6年生。キャプテンの八島君は「みんなよく頑張ったと思う。このチームでの練習は今日で最後。中学生になったらみんなそれぞれリトルリーグや学校の部活に分かれ、これからは別のチームで戦うライバル同士になるけれど、みんな野球はつづけたいと言っています。もちろん僕も続けます」と元気に答えてくれました。

卒部式は低学年のときから支えてきたお父さん、お母さんたちもたくさん出席し150人ほども集まる晴れやかな式典でしたが、実はベイバスターズは昨年、創立者で代表を務めてきた波木さんと審判員の中村氏の死去という悲しいことも経験しました。今回の卒部式でも冒頭で逝去されたお二人への哀悼として出席者全員で起立して黙祷が捧げられていました。

ベイバスターズは、ベイトウンでは清掃活動を行うなど地域の活動に積極的に参加するクラブとしても知られています。これからも強く優しい心をもつ子どもたちを育ててください。【松村】



新春腹ごなしウォーキング

正月が終わり、楽しい行事と引き替えに生活リズムの乱れのせいで、昨年結構続いていたウォーキングの習慣が途絶えてしまいました。そろそろ平常モードに戻さなくては。自分に喝を入れるために、海岸ウォーキングに行ってみました。【小原】

決行日の最高気温は7℃。かなり寒い日でしたが、ありがたいことに風がほとんどなく、絶好のウォーキング日和でした。

10時すぎ、バレンタイン通りをまっすぐ海岸に向かって歩きはじめます。シーサイドデッキを渡って駐車場を突っ切り、幕張の浜に降りました。

富士山が意外に大きく見えます。どこかで座ってのんびりしようと思っていたのですが、なんだか大きな土嚢(?)が積まれていて、砂丘は工事現場のようでした。昨年の台風で被害にあい、直している工事の途中だったのです。今年の夏に間に合うでしょうか。

座って富士山を眺めるのはあきらめて検見川の浜方向へ歩き始めました。花見川にかかる美浜大橋を歩きますが、なだらかな登りが長くて疲れ、運動不足が身にしみました。

橋の終点で海岸への階段を降りると、ふくよかなネコがのんびりひなたぼっこ。呼んでも、逃げもしませんし、寄ってもきません。茂みの中にある皿が支援者の多さを感じさせます。

そこが検見川浜(1,300m)のはじまりです。この砂浜は整備された公園になっていて、トイレや更衣室、シャワー、飲料の自動販売機があります。散歩の人も多く、市民の憩いの場です。カモメやヨットをながめながら歩くと、その先にしゃれた建物が見えてきました。パンの焼ける香ばしい

匂いが漂ってきます。「ブリオッシュドーレ」というベーカリーカフェでした。まだ11時ちょっと過ぎで、休憩には早いので通り過ぎ、とにかく浜の終点、草野水路を折り返し地点としました。水路の向こう側がいなげの浜です。

検見川浜の終わりには、海の中に伸びる堤防「突堤」がありました。歩いてみると予想以上に長く、海の上を歩く感じがして面白いです。スカイツリーをはじめとする東京のビル群もいつもとちがう角度から眺められます。冬の澄んだ空気のおかげではっきり見えました。

と、頑張って歩きましたがやはり疲れました。先ほどのおしゃれなカフェに立ち寄ります。食べるスペースは、外にソファやテーブル席があり、春や秋はもっと気持ち良いことでしょう。熱いコーヒーとサンドイッチでほっと一息。お客さんの多くは車で来てパンを買って帰っていきます。私もバゲットを買おうと思ったら人気があるらしく、すでに売り切れで残念…。

元気が出たところで帰途につきます。検見川浜から美浜大橋を渡り花見川通りというルートで一気に40分で自宅着。合計約1万4千歩でした。

海の近くに住んでいるのに、ひさしぶりに波音を聴き、癒しのひとときで

した。が、身体は正直で、その数日後少々足首に痛みを感じて、準備運動をしておけばよかったかな、と後悔しています。久しぶりに歩く時は体操しておかないとね。



(写真上から)：工事中の幕張の浜。砂浜には土嚢が／東京湾を挟んで見えるスカイツリー／突堤から見るベイタウンの街並み。

打瀬公民館からのお知らせ

お肌いきいき 美容教室！

シニア世代のみなさまのために、公民館ではシニア健康講座を開催しております。

今回はヤクルト化粧品さんの協力で、「お肌いきいき美容教室」のお話しと実技の指導を行います。毎日をいきいきと過ごすための「美と健康」のためのプログラムです。ヤクルト化粧品のスタッフの皆さんがていねいに美容と健康についてご指導します。シニア世代以外の皆さまも振るってご参加ください。

日時：3月8日(木) 10:00～12:00

場所：打瀬公民館 講習室

講師：ヤクルト化粧品事業部の皆さん

内容：「季節のスキンケア」

「5歳若返りメイク」

「日々のお手入れの仕方」

受講料：資材費 300円

対象・定員：成人 20名(先着)

申込み受付：2/9(金) 9:00～ 直接公民館の窓口か電話で受け付けます

打瀬公民館：TEL 296-5100

オリンピック・パラリンピック

外国人おもてなし初歩英会話教室！

千葉市では、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、外国人観光客等が安心して滞在できる環境を整えています。幕張メッセもオリンピック・パラリンピックの競技会場にもなり外国人観光客の皆さんも多く訪れます。そこで、公民館でも外国人に対する「おもてなし」の心を身に付け、外国人と道案内等の簡単なやりとりができる程度の英会話を学ぶ講座を企画しました。

中学校で学習する程度の語彙や表現を用いた、初級者向けの講座です。振るってご参加ください。

日時(全2回)

2月15日(木) 10:00～12:00

22日(木) 10:00～12:00

場所：打瀬公民館 講習室

講師：おもてなしキャラバン／吉田晴美さん

受講：無料

対象・定員：成人 20名(先着)

申込み・受付：2月2日(金) 9:00～

直接公民館の受付か電話で受け付けます

打瀬公民館：TEL 296-5100

ベイパークエリアの本格ビール醸造所

IT 企業に勤務する元・遺伝子研究者が提唱する地産地消のビール文化

若葉地区ベイパークエリアの「幕張ネイバーフッド」に昨年 9 月オープンした「幕張ブルワリー」。ベイトウン在住で IT 企業に勤める富木さんが、米オレゴン州ポートランドのクラフトビールに惚れ込んで、自ら起業したビール醸造所だ。「身近な豊かさ・幸せを感じる世界を描く」をビジョンに掲げる幕張ブルワリーを取材した。

【松村】

ビール造りに興味を持ったのは 4 年ほど前です。出張で何度も訪れたアメリカの小さなパブで飲むクラフトビールがどれも日本のビールと味が異なり驚いたことがきっかけかな。

そう語るのにはパティオス 17 番街在住の富木毅さん。遺伝子研究で理学博士号を取得し、現在は IT 企業に勤めて新規事業の立ち上げを行うサラリーマンだが、旨いクラフトビールづくりに憑かれ、ついにはブルワリー（ビール醸造所）をオープンさせてしまった。場所は開発中の街「ベイパークエリア」。そうベイトウンの隣に開発中の新しい街、若葉地区だ。

全米住みやすい街 No.1 と言われるポートランド。街の郊外には農地が広がり、ブルワリーでは地元で採れる大麦やホップを原料にビールを造って、地元で育った食材を使った料理を出す。ポートランドは「世界の BEST ビール都市」と言われる街で、人口約 60 万人の街のあちこちに小さなブルワリーが 60 カ所以上もある。富木さんは、地域資源を活かすポートランドの文化に興味を持ち、何度か通ううちに、幕張でも地元の素材を活かしたブルワリーを作りたいと思ったそうだ。

昨年 9 月に飲食店部分を開業し、今年の 4 月にビール醸造開始を目指して現在醸造免許申請中。飲食店と醸造所が一体となったブルワリーのデザインはポートランドのブルワリーを参考としたもの。ブルワリーのシンボルになる醸造タンクなどの醸造設備は、すべてポートランドから輸入している。昨年 12 月、空っぽでガランとしていた醸造所にポートランドから届いた重量感のある醸造タンクが設置されたときは「いよいよこれから始まるんだ」という高揚感を感じたとのこと。



代表の富木さん（写真左）と共同経営者の大塚さん。大塚さんはソムリエの称号をもつ。（写真左下）日本各地と本場ポートランドのクラフトビールがいつでも注げるタップ。（写真右下）醸造タンク 4 基を備える醸造所。

街づくりの成功事例として注目されるポートランドは、若葉地区のベイパークエリア開発のモデル都市でもある。このこともブルワリー開業を実現する大きな後押しになったという。60 万人の人口に 60 カ所のブルワリーなら人口 1 万に対して 1 カ所ブルワリーがある計算。ベイトウンとベイパークを合わせた計画人口は約 4 万人なので、街にブルワリーが何カ所かあってもおかしくない。

富木さんはベイトウンの隣の真砂出身。中学・高校時代に幕張新都心の学校に通っていたので、幕張や千葉にはとても愛着がある。幕張の周りや千葉には広い農地があって、豊かな田園風景が広がっている。ここで採れる食材を使って、ポートランドのような地産地消のビールや料理を提供するブリューパブはきっと新しい街、幕張の文化に合っていると思う。

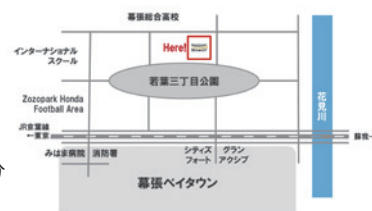
幕張ブルワリーのビジョンは、「身近な豊かさ・幸せを感じる世界を描く」。現在来店する方の 7 割がベイトウン在住。身近なところで作られたビールや食材を、近所のブルワリーで味わうことで、豊かさや幸せはどこか遠くにあるのではなく意外と近くにあるということを来店する方々と共有したいそうだ。最近では、ビールを飲みながら聞ける Jazz ライブや、ポートランドでは毎週のように開催されているビールを飲みつつヨガを行うプログラムなどを開催している。これは、ビールを飲んで心を解放することで、より音楽や自分の内面を感じるようになるからだそうだ。

今お店では日本各地のクラフトビールのほか、3 種類のポートランド産ビールが飲める。春にはポートランドから呼ぶ本場のクラフトビール造りの職人さんと共にビールを造り、このブルワリーで初めてのビールを「蔵出し」をする。ベイトウンの身近なところで本場のクラフトビールを味わい、豊かさ・幸せを感じて頂きたい。

幕張ブルワリー

〒261-0014
千葉市美浜区若葉 3-1-21
Tel: 043-307-1962

平日（水曜定休）：
11 時 30 分～15 時、17 時～21 時 30 分
土日祝：11 時～22 時



2 月のコア・イベント

わくわくおはなし会 2 月のおはなし会

日時：2018 年 2 月 17 日 第 3 土曜日 午前 10：30 から

場所：ベイトウン・コア講習室

今月もわくわくするお話を用意してお待ちしています。
年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どももぜひきてね！
予約は不要です。読み手も募集中、見学大歓迎

ブログ更新中・見てね <http://blog.livedoor.jp/chibawaku/>
お問合せ先 chibawaku2@freeml.co

寺子屋工作ランド

「紙コマ」をつくらう

日時：2018 年 2 月 24 日 第 4 土曜日 午前 9：30～11:30

場所：ベイトウン・コア工芸室

工作用紙 5 枚をはりあわせたコマです。きれいな模様をつけます。
持ってくるもの：はさみ、木工ボンド、クレヨン
参加費：50 円（保険料）

第 168 回ファツィオリの会

日時：2018 年 2 月 25 日（日） 午前 9：30～11：30

場所：ベイトウン・コア音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファツィオリ」の演奏や他の楽器の演奏、声楽や合唱などに使って頂くことが出来ます。非公開でのご利用を希望のときは、ご相談下さい。定員になり次第締め切らせていただきます。

締切：2018 年 2 月 18 日（日）

申込先：211-6008（林）email：hayamho@gmail.com